

同友しずおか 3

2019

VOL.484



●社長はいつも孤独
●経営の成功体験しか聞けない
●目の前の仕事に追われる毎日
●指示待ち社員ばかり

●経営の悩みを相談する仲間ができた
●失敗談から勇気とヒントをもらえた
●将来の会社のビジョンができた
●自発的な社員が増えた

**その答え、
同友会にありました。**

会 員 募 集 中

経営者同士だからこそ話せる
悩み、解決へのヒント、将来への展望。
体験してみませんか？

静岡県中小企業家同友会 TEL/054-253-6130

私の逸品

島田信用金庫

県内信用金庫で初の採用！
「仲間づくりポスター」を全支店に掲示



静岡県中小企業家同友会



中小企業家同友会とは

静岡同友会は1974年に71名の経営者が呼びかけあい、設立されました。約1,100名の経営者が、「経営体質の強化」「経営者の能力向上」「経営環境の改善」をめざし、活動しています。全国各地で開催される全国大会をはじめ、県全体で行う定時総会・全県経営フォーラム、また、経営課題別の専門委員会、県下11支部での活動、行政や関係諸団体との懇談、連携等、多岐に亘る活動をしています。



同友会3つの目的

- 1 よい会社をつくろう**
同友会は、ひろく会員の経験と知識を交流して企業の自主的近代化と強じんな経営体質をつくることをめざします。
- 2 よい経営者になろう**
同友会は、中小企業が自主的な努力によって、相互に資質を高め、知識を吸収し、これからの経営者に要求される総合的な能力を身につけることをめざします。
- 3 よい経営環境をつくろう**
同友会は、他の中小企業団体とも提携して、中小企業を取りまく、社会・経済・政治的な環境を改善し、中小企業の経営を守り安定させ、日本経済の自主的・平和的な繁栄をめざします。



平成30年度 重点課題

- 経営指針成文化の環境整備を進め、労使見解に基づく人を生かす経営の実践企業を増やします
- 中小企業振興基本条例運動を推進し、県・市町の行政・金融・関係機関との連携を強化し地域づくりをめざします
- 2020年ビジョン3年目にあたり、早期に1200名会員を達成し、支部のさらなる活性をはかります

新会員のご紹介 (敬称略) 会員数 1085 名

氏名	社名・事業	所属支部	紹介者
せきの 関野 ゆきお 幸生	(株)野村商店 建設資材販売、各種工事（建設資材（左官材、屋根材、タイル石、ブロックレンガ、外装建材他）、土木資材、コンクリート二次製品、住宅設備資材（配管材、機器）、セメント、生コンクリート、骨材）	伊東	野村 勝也
うさ 宇佐美 りょうじ 良二	(株)正興 塗装工事業、防水工事業（橋梁、一般民家外壁、塗装、防水）	富士	梅屋 直史
せい 清 あきのり 昭範	(株)スマートエンジニア 人材サービス業（人材派遣業、人材紹介業、各種アウトソーシング）	富士宮	鈴木昭二郎
みやざき 宮崎 てつや 哲也	宮崎ふとん店 寝具販売	富士宮	田邊 元裕
いなば 稲葉 たかひで 峰英	稲葉溶接 製造業（船の燃料弁の溶接、キップシュートの製作、特殊車両の部品製造）	静岡	橋本 和幸
しまだ 島田 くみこ 久美子	静岡未来ラボ 教育コンサル（教育、教材作成、講演、サイエンスカフェ、論文審査、キャリアコンサルティング）	静岡	事務局
すずき 鈴木 まさよし 雅芳	望月運輸(株) 一般貨物自動車運送業、貨物利用運送業、倉庫業（食品・自動車部品の運送、食品・飲料の倉庫荷役保管）	志太	松葉 秀介
おさき 尾崎 あつこ 敦子	(有)リプロ 産業廃棄物処分業	榛原	鈴木 徹

名義変更による新名義人 (敬称略)

氏名	社名・事業	所属支部	旧名義人
かとう 加藤 ひでき 秀基	(株)カトウ	榛原	加藤 信幸

※新会員の写真はe.doyu「ユーザ名簿」に掲載します。e.doyuからのご確認をお願い致します。



真の「連携」により 地方創生を実現する！

島田信用金庫（榛原支部）

理事 三浦 忠司氏

魂を込めた経営指針に感動
三浦忠司氏は2017年10月に入会。きっかけになったのは、オブザーバーとして例会に参加した際に感じた、同友会会員の真面目さと自社経営や地域に向ける情熱でした。入会後は榛原支部のみならず、県行事や他支部の例会にも積極的に足を運んでいます。参加する中で何よりも驚いたのが、経営者自らが自分自身と向き合い、魂を込めて作成した経営指針書でした。経営者同士が膝詰で議論し、時には自身の決算書なども見せ合いながら自社の未来と向き合う姿に、中小企業の力強さと信頼関係の強さを感じたと言います。



三浦 忠司氏

キーワードは「連携」

三浦氏がキーワードとしているのは「連携」です。今までも様々な連携を具体化してきました。金融機関・ハローワーク・企業が、人手不足という共通の課題解決に向けて連携した事例があります。同金庫の職員とハローワークの職員が、求人を出している企業に訪問。互いの実態を知ること、よりよい形での採用につなげています。さらに、国内でも先進的な取り組みとして、同金庫のATMコーナーにハローワークの求人誌を設置。多くの方が地元の求人に目を向けることのできる環境をつくりました。三浦氏は「共通の課題解決に向けた具体的な連携は、魂の入った行動に繋がると」と話してくれました。

県内信用金庫で初の採用！

「仲間づくりポスター」を全支店に掲示
今回の逸品である「仲間づく



島田信用金庫は今年で90周年を迎えた

「地方創生」と「本業支援」の2本柱

島田信用金庫は今年で創立90周年を迎え、「地域一体宣言」のもと、「地方創生」「本業支援」を2本柱として活動しています。2016年4月に「地方創生の一丁目一番地」として、島田市などと連携し設立した「島田市産業支援センター（おびサポ）」

には、年間約2,000人が相談に訪れるようになりました。また、地方創生に取り組む地元高校生の研究発表の場として開催している「高校生による地方創生研究発表会」は、高校生のアイデアと企業をマッチングし商品開発という具体的な成果に結びつけています。
2019年6月には掛川信用金庫との合併も控えており、より広いエリアでの支援が可能となります。今後も「お客さまと共に金庫も栄え明るい職場と幸福な家庭をつくる」という経営理念のもとで「地域と一体となって地方創生に取り組んでいきたい」と三浦氏は話してくれました。

島田信用金庫

〒427-0022 島田市本通3-2-1
TEL：0547-37-5189
URL：http://www.shimashin.co.jp

創立 1929年

社員数 456名

入会年月 2017年10月

事業内容 預金業務、貸出業務、為替業務、
本業支援、地方創生ほか

会員訪問記

事業の人脈を活かした企業サポートへ

(有)浜松ブロード・マインドオフィス
代表取締役 伊藤 正浩氏（浜松支部）



伊藤 正浩氏

保険代理店という選択

浜松市で2000年に生命保険・損害保険代理店として(有)浜松ブロード・マインドオフィスを創業した伊藤正浩氏。地元企業でサラリーマンとして働いていた時、いずれは自分で起業することを考えていました。そんな時に子ども

が生まれ、保険加入をしたのですが、当初補償されると聞いていた保険がしっかりと適用されませんでした。この経験から、お客様に満足してもらえる保険を提供したいという強い思いを持ち「保険代理店」で起業しようとした。他の業種と比べ資金を必要としないことも後押しとなったそうです。着

実にお客様を増やし、現在は浜松市中区高林にオフィスを構え、従業員5名で自動車保険や生命保険をメインに保険代理店として事業を展開しています。

社員との向き合い方

入会のきっかけは、同業種の仲間でもある宇佐美健介氏（有エージェントうさみ・富士宮支部）に勧められたことでした。伊藤氏は、会社創業時に経営理念は必要だろうと考え創ってはいったものの、当時は壁に掛けているだけだったそうです。自分一人の時はあまり気にしていませんでしたが、他社との吸収合併などにより従業員が増えていき、保険という外回りが基本の業種で意思統一を図る為にも



経営理念の共有は必須と考えました。現在は経営理念をしっかりと従業員に理解してもらい、仕事の共有だけでなく会社の方向や考え方を共有することに取り組んでいます。同友会では社員との共有の仕方や今後直面するであろう課題を学び合い、会社の足腰をしっかりと固めていきたいとのことでした。

淘汰されていく保険代理店の新たな挑戦

年々保険代理店としての売上や他社との争いは厳しくなってきたと伊藤氏は話します。単純に人口が減少していくなかで分母が減るだけでなく、インターネットでの保険契約も増え、保険代理店

の競争がいつそう激化する見込みです。そんな中、企業は働き方改革に伴い、従業員に対する補償や健康に対する考え方が変わってきており、企業の「健康経営」をテーマに仕事のネットワークを活用することができると話してくれました。例えば保険の顧客であるヨガの先生と企業をマッチングさせ、企業の会議室でヨガ教室を開けば、従業員の活力向上につながります。(有)浜松ブロード・マインドオフィスは保険だけでなく、そのネットワークを活かした提案を通して「健康経営」という新たな企業との関わり方で地域の活性化を進めていきます。

取材・記事 楠林 壮太氏
(塗り物アートかがや・浜松支部)

(有)浜松ブロード・マインドオフィス
〒430-0907 浜松市中区高林1-8-12
TEL・FAX：053-471-7020

設立 2003年6月1日
社員数 5名
入会年月 2019年1月
事業内容 損害保険（三井住友海上、損保ジャパン、日本興亜）、生命保険の代理店

浜松支部45周年記念式典

浜松支部の歴史を振り返り、同友会の思いを次世代に繋ぐ

2月16日(土) ホテルオークラアクトシティ浜松 参加：59名



浜松支部は今年度45周年を迎えました。当日は来賓をはじめ、県内会員、創設期の元会員の総勢59名の参加の下開催されました。

冒頭、山本義彦氏(静岡大学名誉教授・同友会顧問)、河合浩史氏(板橋工機(株)・代表理事)より祝辞を頂きました。その後、佐野譲二氏(株)和泉運送代表取締役・同友会相談役)より記念講演。佐野氏の経営実践と同友会の歩みから学び合いました。

懇親会は須山由佳子氏(有キャリア・アップ・浜松支部長)、遠藤一秀氏(遠藤科学(株)・同友会会長)の挨拶の後、今後の会員企業・地域経済の発展を祈念してスタート。県内各支部会員と歴代浜松支部会員、来賓の皆さんが交流を深める記念式典となりました。

45周年式典を終えて そして今後の展望

この度、浜松支部は創立45周年式典を無事開催することができました。これも一重に県理事の皆様始め、他支部の支部長・会員の皆様のご支援があったからこそであり、深く御礼申し上げます。

浜松支部の前身である浜松同友会は1974年、静岡同友会より少し早く設立されました。第1次オイルショックの真っ只中において、自社経営を何とかしたい、経営の勉強をしたいという熱き思いのもとで創設されたと聞いて

おります。その後のバブル景気とその崩壊、リーマンショックなど数々の経済の荒波の中、この同友会で共に勉強し合い、共に乗り越えられてきた諸先輩がいらっしゃったことを改めて認識することができました。式典を通じて半世紀近くの歴史を改めて振り返ったことで、同友会の位置づけと重みを感じ、これを未来にもつなげていくことの必要性を実感した次第です。懇親会では、浜松支部設立にも携わったOB会員の皆様から当時の思い出話などをご披露頂き、とても盛り上がりました。5年後に浜松支部は50周年を迎えますが、その時には現会員数の2倍へと拡大し、さらに全会員が「経営指針」を活用しながら自社経営に取り組んでいる状態を創り上げたいと思います。今後とも浜松支部のご支援ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

須山由佳子氏(有キャリアアップ・浜松支部長)

諸先輩の言葉に見る 浜松支部の歴史と同友会の価値

東京、京都で同友会を知った諸先輩方が「会社経営や労使問題、雇用、金融機関との交渉など様々な勉強をする同友会を浜松に作ろう」と、手探りの中で経営者を集めて設立した浜松同友会。今回、45周年記念式典を開催するに当たって設立メンバーのうち7名を訪ね、お話を伺いました。「井の中の蛙ではないけない。だからこそ異業種の集

まりに身を置くこと」「時間厳守をしなければ経営者ではない。回答期日を守るほか、挨拶や返事もしつかりしよう」「一人では何もできない。組織編成、組織経営が大事」「従業員、取引先企業、家族に対しての心配り、気配りを忘れずに」「全国大会に参加することで多くの人と出会い、新たなヒントやチャンスを掴むことができる」「仲間の意見や行動を知ること、できないと思っていたことにもチャレンジし、できるようになる」など、自らの体験をもつて経営者の心得や同友会の価値を語ってくださったのですが、その一つひとつがまさに金言でした。

また、この式典に参加された片山幸夫氏(浜松支部OB、初代支部長)からは「活力をもらった。次の日に、知人の講演会に参加してきました」と、県西部の活動に幅広いご助力を頂いている山崎眞氏(スペースプランニング(株)相談役・中遠支部)からは「若返った。皆に会えて良かった。興奮した」と感想をもらいました。当日はお二人の奥様も参加されましたが、家族の支えがあって経営は成り立つのだと再認識しました。奥様方からも喜びの声を頂けて、本当に嬉しく思います。

浜松支部が丸となってやり遂げた45周年行事。携わった皆さん、お疲れ様でした。最後に私からも感想を一言。「やればできるじゃん!」

岩井一代氏(南たかはなファーム・浜松支部)

第49回中小企業問題全国研究集会 in 長崎 開催

2月21日(木)・22日(金) ホテルニュー長崎

2月21～22日、第49回中小企業問題全国研究集会が長崎のホテルニュー長崎を主会場に開催され、全47同友会から約1,300名、静岡から22名が参加しました。「時代の大転換期に立ち向かう覚悟と実践 『人を生かす経営』を広げ、地域再生を」をスローガンに、12分科会と全体会の記念講話、記念講演などが行われました。

2日目の全体会で行われた記念講話では「被爆地の市長として―Peace from Nagasaki」と題し、田上富久長崎市長が登場。「広島と長崎で73年前に起きた悲劇は過去の出来事ではありません。世界における今と未来の問題であり、共に平和への想いを行動に繋げていきましょう」と長崎から世界平和に向けたメッセージを送

1日目は、「SDGsと人を生かす経営」や「事業承継」、「共に生き共に育つ地域と企業に」そして本集会のスローガンにもある「大転換期への対応」など、全12分科会に分かれそれぞれが学びを深めました。



田上長崎市長



全体会で挨拶する広浜泰久会長



高田 明氏

りました。その後、主催者を代表して広浜泰久中同協会会長から「今ここにすることに誇りと使命感を持つて、明日からの実践に繋げていきましょう」との呼びかけがありました。

その後、記念講演が行われ、(株)ジャパネットたかたの創業者で現在はプロサッカークラブ、(株)V・ファアレン長崎の代表取締役社長である高田明氏が登壇。佐世保の小さなカメラ屋が全国に名の知れ渡る企業になるまでのプロセスをお話いただきました。講演の中では参加者に向けて「経営者に求められるのはミッション(経営理念)・パッション(情熱)・アクション(行

動)の3つ。これを基本に夢を語れる経営者になりましょう」と中小企業家に向けたメッセージを送りました。最後に閉会の挨拶では次回開催地である京都での再会を呼びかけ、盛会のもとに閉会となりました。
(次ページでは4名の参加者の分科会で
の学びをご紹介します!)



懇親会

第1分科会

社会・経済・技術の転換期における中小企業経営 有機的連帯（同友会）の可能性

報告者：藤岡資正氏（明治大学グローバル・ビジネス研究科専任准教授）

今回、グローバルの視点から見た外部環境変化を詳しく学びたいと思ひ本分科会に参加しました。日本における水産物の流通は、世界一の水産物消費大国として、戦後高度成長期に遠洋漁業が拡大し地球の裏側まで良質の水産物を追い求めてきました。

その後200海里規制などから急速に遠洋漁業が衰退しましたが、海外からの水産物輸入は日本近海での不漁を埋めるように拡大してきました。一方、海水温の上昇に伴う漁場の変化、新興国での水産物消費拡大、和食の世界的なブーム、資源管理の問題など多くの外部環境変化にさらされている業

種でもあります。冒頭に藤岡氏が「本場の発見の旅とは新しい土地を探ることではなく、新しい目で見ることである」と言っていました。まさに外部環境変化に対して自社がどのような戦略をとり、自社の社会的な存在意義は何なのかを再定義する時代に入ったと感じました。また、大変化の時代だからこそ自分自身と正面から向き合い、現在の自分を知るだけではなく、未だ明らかにされていない自分の中に秘められた可能性を探すことの大切さをバズセッションを通じて強く感じました。

羽野佳明氏（丸は羽野水産（株）・沼津支部）

第3分科会

事業承継は経営者の最も重要な仕事 いかにして承継するか

報告者：中村高明氏（株紀之国屋／福岡同友会）
アドバイザー：釜堀隆司氏（釜堀税理士事務所所長・税理士法人コスモス顧問）

私はまだ45歳と若輩者ですが、事業承継に興味があり本分科会に参加しました。中村氏は55歳の時に新卒社員を見て、この社員の将来への責任を取るためにも事業を次の世代にしっかりと承継しなくてはと思い、事業承継の準備を始め、10年計画で進めたことでした。テクニカルな内容もあり、

経営者保証の解除の条件や、退職積立保険の活用により株価を抑えたり、保険金の受取り口座はメインバンク以外にして差押え対策をするなど、かなり生々しいお話も聞けました。承継者には、人を見る、数字を

作れる、全体を見る、の3つの能力が欠かせないとお話もありました。しかし、最終的には理念の共有や社員のことを大切に思える心が最も重要とのことでした。

私は本分科会を通じて、事業承継とは、社員、お客様、地域に対する経営者の責任、まさに「最も重要な仕事」なのだと思付かれました。今後、指針書の中に事業承継計画のページを増やし、今からでも取り組んでいきたいと思います。

久高洋司氏（株高栄塗装・静岡支部）

第8分科会

理念を掲げ、挑戦続けて20年、 人口8万、地方都市での攻めの経営

報告者：堀昌彦氏（株HOR建築／京都同友会）

人口8万人という地域、また堀氏の現在の経営スタイルに行きついた経緯が我が社を取り巻く環境と重なっていたこともあり、本分科会に参加しました。京都府福知山市で工務店を経営する堀氏は、同友会に入会し経営者のあるべき姿と出会い、経営姿勢、確立の大切さを学びました。そして経営の本質である「社員目線、お客様目線で考え満足へと繋げていく企業づくり」に取り組んでいきます。工務店の本質は販売主義ではなく「幸せづくり」と考え、一生に一回であろう夢の家づくりの着工から完成まで

のDVDの作成なども行い、お客様に感動してもらうことに力を注いでいます。そのお客様の喜びが社員に働く喜びを与えていました。それもすべて相手の立場に立ち考えているからです。家づくりは幸せづくり、そのお客様に対する強い想いに社員が動き、「横受け関係」と捉える協力業者や職人が動いている姿が浮かびました。まさに「人を生かす経営」を学び実践しているのだと強く感じました。

水野悦裕氏（株榛南自動車学校・榛原支部）

第12分科会

地域づくりの鍵は同友会が握る 振興条例を武器に地域をプロデュース

報告者：園田裕史氏（大村市長）
時 忠之氏（株大幸企画／長崎同友会）

はじめに時氏から、大村市中小企業振興基本条例の制定までの同友会での苦労の話と、その後の振興会議での提言や政策実現への更なる難しさのお話を聞きました。続いて園田大村市長からは、行政上での制定までと運営の実際の苦労話を聞きました。

制定までの苦労より、その条例をいかした政策づくりが大変難しいことが参加した皆の共通認識であり、それをいかに打開していくかが大きなテーマとしてありました。それについて時氏からの「同友会の経営者の覚悟と官民協働の仕組みが必要である」

との力強い言葉が印象的でした。また、時氏は大村商工会議所の副会頭に就任したことをきっかけに、商工会議所のメンバーに同友会を紹介し学び合いの中で成長を促しました。それと同時に行政の部課長クラスと議論・交流を深めて現状に至ったとの話を伺い、その情熱と行動力に感銘しました。

私も三島市の振興会議で商工会議所や行政とより深く付き合い、しっかりとやらねばと覚悟させられ、本当に良かったと思いました。

高木基氏（パリュール・トーカイ（株）・三島支部）

3月・4月

DOYU CALENDAR

3月16日(土)～4月15日(月)

3月 18日(月)	組織増強委員会 (19:00 同友会事務局) 共育委員会 (19:00 同友会事務局)
19日(火)	政策委員会 (19:00 同友会事務局) 浜松例会 (19:00 ザザンティ中央館 5 F)
20日(水)	障がい者問題委員会 (19:00 同友会事務局) 伊東例会 (19:00 ひぐらし会館) 志太例会 (19:00 藤枝文化センター) 榛原例会 (19:00 牧之原市商工会)
22日(金)	Your Life 高校生のための合同企業説明会 (13:00 プラザおおり) 会員経営者が語る「イントロセミナー～同友会と私」 (19:00 同友会事務局)
25日(月)	静岡県信用金庫協会正副会長との意見交換会 (14:00 静岡財務事務所(予定)) 沼津・三島合同例会 (19:00 三島商工会議所)
26日(火)	例会企画委員会 (19:00 同友会事務局)
27日(水)	理事会 (17:00 同友会事務局)
28日(木)	総務財務委員会 (16:00 同友会事務局) 中遠例会 (19:00 ワークピア磐田)

30日(土)	静岡共学ゼミ (14:00 かまくら文庫)
4月 1日(月)	富士宮合同入社式 (10:00 ゲストハウス フォレストヒルズ)
2日(火)	合同入社式 (10:00 静岡県総合社会福祉会館シズウェル)
2日(火)～ 3日(水)	若手社員研修 (2日 13:00～3日 17:00 もくせい会館)
8日(月)	正副代表理事会 (17:00 同友会事務局)
9日(火)	静岡総会 (18:30 ホテルセンチュリー静岡)
10日(水)	御殿場総会 (18:00 THE GOTEMBAKAN)
12日(金)	富士宮総会 (19:00 志ほ川 パイパス店)



《あなたのスケジュールノートに必要事項をご記入ください》

中国古典と名著から同友会的なリーダーシップの在り様を探る

リーダーシップは「現実の問題状況を捉えて①ビジョンを提示し②それを共同の目的とすることで③集団の行動様式を規律づけ④諸個人をその目的におもむかせる過程」と定義されます。この過程を統率しうる人物がリーダーです。

『貞観政要』は唐の太宗・李世民の治政をまとめた古典ですが、徳川家康も愛読しました。家臣の諫めを遮ることなく「聞く」立場に徹する王者の姿が描かれています。ロバート・K・グリーンリーフは著書『サバントリーダーシップ』(1977年)の中で「俺についてこい」だけがリーダーシップではない



小松 善雄氏

第16期 同友会大学 第6講座

同友会型リーダー！
リーダーシップへの問題提起

講師 中協企業環境研究センター顧問 小松 善雄氏

2月9日(土)

と説きます。「権力」ではなく「権威」で人を導くリーダーでなくてはならないとします。「権威」は「個人の影響力によって、自分の意思通りのことを誰かに進んでやらせる技能」と小松先生は言います。それはつまり「人格で人を動かす」ということではないかと思えます。

同友会の『中小企業における労使関係の見解』(1975年発表)にも共通の思想が流れています。人は認められ評価されることで活き活きと活動します。「命令」ではなく、「説得と納得」を通してこそ人の自発性は引き出されます。社員と日常どう向き合うか。経営者の活力をどう引き出すか。経営者としての権威はどのように身につくのか。同友会3つの目的に云う「よい経営者になる」ことの意味を深く考えさせられる講義でした。

佐野 譲二氏

(株)和泉運送・富士支部)

静岡県中小企業家同友会会費 口座振替のお知らせ

口座振替日／平成31年4月8日(月)

振替会費／平成31年度上期会費(平成31年4月～平成31年9月)

振替額／支部既定の通り

上記の通り、会費をご指定の口座から振替させていただきますので、ご確認をお願い致します。

なお、領収については、通帳への記帳をもって代えさせていただきます。

納入代行会社は「SMBCファイナンスサービス(株)」通帳印字は「SMBC(ドウユウカイ)」名で引き落としされますのでご注意ください。